



会長挨拶



新春の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。元号が「令和」に変わり初めて新年を迎えました。昨年は様々なことがありました。天皇陛下の皇位継承により時代が令和に移りました。その年を表す漢字も「令」となり、まさに令和に沸いた一年になりました。スポーツではラグビーワールドカップが初めて日本で開催され、日本代表のベスト8入りという偉業により日本中が熱狂しました。そのような嬉しいことがあった一方で、これまでに経験をしたことが無い台風による甚大な被害を千葉県においても経験し、いまだ復興がままならない地域もあります。この他にも様々なことが目まぐるしく駆け抜けた一年だったのではないのでしょうか。

私たちの仕事に目を向けると、公的機関における障害者雇用者数の不適切な計上に関する問題は、いまだ多くの課題を残しており、当協議会としても積極的に意見・発信していかなければならない状況にあります。また、障害者雇用ビジネスと呼ばれる雇用モデルの課題も山積している状況です。この問題については3月に開催する連絡調整会議において取り上げる予定ですが、ようやく議論のテーブルについたと言っても過言ではありません。12月に開催された就労フォーラム NIPPONにおいて、これらの事態がなぜ起こるのかを村木厚子さんが端的に話をされていたことがとても印象に残っています。「雇用率は会社(社会)に課された宿題です。宿題を出さなければ勉強しない。だから宿題を出すのであって、宿題をやるのが目的ではない。宿題をやりさえすれば良いと考えるから、様々な問題が起きるのではないか。」という内容でした。宿題をやったことになってしまうという水増し問題、宿題を他の人にやってもらうという雇用ビジネスの問題、まさにその通りだと感じました。とはいえ、企業は雇用率、移行支援事業所等であれば就職率など、多くの縛りがある中で宿題に取り組んでいる状況であると考えます。

私たちナカボツセンターはこれらについて「あるべき姿」を追求できる数少ない資源ではないのでしょうか。連絡協議会の活動を通して「目指すべき社会」「障害のある方の生き活きた就業生活」を妥協すること無く求め続ける役目があるのではないのでしょうか。今年もみなさんと一丸になって「障害者の働く」について考え、行動していきたいと思えます。よろしくお願いたします。

会長 藤尾 健二

特別部会報告

特別部会では、障害者就労や障害者雇用に関して、その時々で課題になっていることを協議し、内外部に発信していくことを目的としています。今年度は「障害者の雇用の質」「公的機関における就労支援の在り方」について、県内のセンターから9名が集い議論を進めています。

まず雇用の質については、最近一つの株式会社が、“働きたい障害者”と“雇用したい企業”に働く場を提供する、俗にいう「障害者雇用ビジネス」が流行っています。障害者にとっては社会保険に加入され最低賃金も守られる、企業にとっては障害者法定雇用率が達成される、場所を貸すことによって大元の会社もプラスになる。まさに『WIN-WIN-WIN』です。

しかし、一方で、働く場所は本社とはかけ離れており、本社にほとんど知られることなく交流もなかったり、福利厚生が行き届いていなかったりという話も聞きます。私たちは、本当にそれだけでいいのか、中身は伴っているのか、デメリットはないのか、何でもかんでも働ければ、雇用できればいいという時代ではないということを協議会内で共有し、『プレない支援』のためのツールにした」と考え、議論しています。

また、公的機関における障害者雇用については、千葉県教育庁から報告のあった障害者雇用の不足数は、先日の報告で300名を超えるとありましたように、各省庁やその他の公的機関でも雇用しなければという動きが加速しています。そのような状況の中、各センターが公的機関とどのような関わり方をされているのか、現状を確認し、どこまで支援をしていくべきかなどについて意見交換をしております。

今後、それらについて県内16センターへアンケート調査を実施したうえで、再度部会で話し合い、集約した内容を協議会の会議で報告し、支援の足並みを揃えていくことを目標としています。また、制度施策部会と協力してもっと広範囲に調査を行い、さらに深掘りをしたうえで、関係各所に現状を知ってもらえるよう発信していく予定です。

私自身、特別部会に所属し、今回の課題と向き合いメンバーと協議、情報交換をする中で多くのことを学ばせていただいております。また、これからの障害者雇用の在り方、働く喜びを感じられるあり方はどうあるべきなのか、向き合ういい機会になっております。これからさらに問題意識を持ち、どんどん議論を重ねていきたいと思えます。

大久保学園 会田



「爪痕」 安房地域の台風被害

令和元年9月9日、ファクサイと呼ばれた台風15号は千葉県に甚大な爪痕を残していきました。

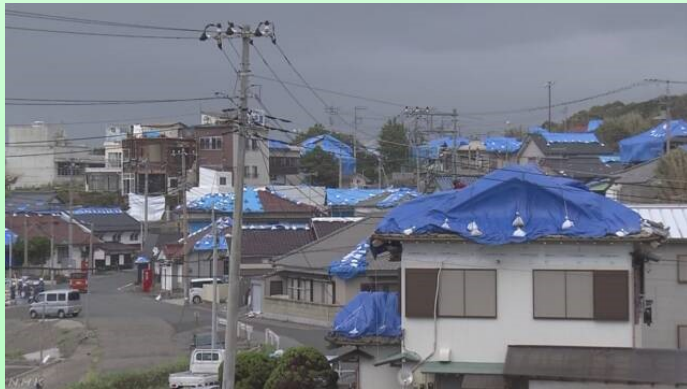
9月8日22時頃から風雨が強くなり、シャッターを閉めた住まいに雨が横殴りに叩きつけてきました。0時頃には雨、風以外にも瓦が落ちて割れる音、時折聞こえる「バリバリッ」という轟音に家族でヒヤヒヤしていたことを思い出します。早朝6時、風が弱まり外へ出るといつもとは違う光景が目の前に現れました。大量の割れた瓦とガラス、折れてしまった庭木、どこから来たのかわからないカーポート・・・、前夜の轟音の理由がようやく理解できました。

自宅の状況を確認し、すぐに事業所に向かうと更に凄惨な状況が見えてきました。散乱した瓦や看板、崩れた土手、曲がった信号。山間の道では行く手を遮る土砂と山から流れこんだ雨水。事業所の隣「布良地区」では空襲でもあったかのような屋根の無い家や、柱がむき出しになった家屋。どのように復旧していくのか皆目見当がつかない状況でした。

今回のような災害に対して今後どのように備えていくのか。先日防災研修に参加した際に講師より「警戒レベル4は全員避難では無く、特に福祉施設では全員避難が終え安全確保が完了していることが重要。守るべきは命、そのためには常に先を見て行動することが大切」とのことでした。

これから常に起こりうる災害に対して、今改めて考えていく必要があります。

中里 近藤



担当圏域	名称	電話番号
千葉市	千葉障害者キャリアセンター	043-204-2385
船橋市	大久保学園	047-457-7380
市川市・浦安市	いちされん	047-300-8630
習志野市・八千代市・鎌ヶ谷市	あかね園	047-452-2718
松戸市・流山市・我孫子市	ビック・ハート松戸	047-343-8855
柏市	ビック・ハート柏	04-7168-3003
野田市	は一とふる	04-7124-0124
成田市・佐倉市・四街道市・八街市 富里市・印西市・白井市・印旛郡	就職するなら明朗塾	043-235-7350
香取市・香取郡	香取就業センター	0478-79-6923
銚子市・旭市・匝瑳市	東総就業センター	0479-60-0211
東金市・山武市・大網白里市・山武郡	山武プリオ	0475-77-6511
茂原市・長生郡	長生プリオ	0475-44-4646
勝浦市・いすみ市・夷隅郡	ピア宮敷	0470-87-5201
館山市・鴨川市・南房総市・安房郡	中里	0470-20-7188
木更津市・君津市・富津市・袖ヶ浦市	エール	0438-42-1201
市原市	ふる里学舎地域生活支援センター	0436-36-7762

編集後記・広報部会より

今年はいろいろなことがありました。新元号から始まり台風災害、ラグビーワールドカップなどうれしいことやつらいこと、一度にまとめてやってきた年でした。

我々千葉県ナカボツセンター連絡協議会では16センターすべてでワンチームとなっています。今後も楽しいことつらいことを皆で共有し、共に戦っていきたいと思います！

中里 近藤

事務局

千葉県障害者就業・生活支援センター連絡協議会
障害者就業・生活支援センター
ふる里学舎地域生活支援センター
千葉県市原市今富1110-1

電話：0436-36-7762 F A X：0436-26-7090

E-mail：fg.shien@yukeikai.jp

ホームページ：http://www.chiba-centernw.com/